

教育委員会定例会会議録

開催日時	平成30年 8月 1日 (水) 午前9時00分
開催場所	木城町総合交流センターリパリス1階会議室
出席委員等	委員 原 朋輝 委員 柄本奈津美
	委員 鳴海 良廣 委員 牛田 裕子
	教育長 中竹 聖子
欠席委員	なし
上記以外の出席者	教育課長 西田誠司 補佐 小嶋一洋 社会教育係長 白岩修 給食センター係長 渡邊千里
<p>・教育委員会定例会の開催</p> <p>議長選出：中竹教育長に議長をお願いしました。</p> <p>議題及び議事</p> <p>(1) 8月期定例会会議録署名委員の指名 (中竹教育長・鳴海委員)</p> <p>(2) 7月期定例会会議録承認について (中竹教育長・柄本委員)</p> <p>事前に送付していた7月期定例会議事録について、承認され、両名において署名</p> <p>(3) 事務局報告</p> <p>① 教育長報告</p> <p>・7月 9日 (月) 国民体育大会準備委員会総会 (宮崎市)</p> <p>町長の代理で出席したのですが、全市町村で何らかの競技を実施することになります。来年度中には全競技の会場を決定することになっています。現在は、6市町村の会場が決定しています。本町につきましては、現在、県と協議を行っているところです。</p> <p>・7月18日 (水) 市町村教育委員連合会総会及び研修会 (宮崎市)</p> <p>研修会では、LGBTについて考える研修でした。当事者である2名が講師となって講話されました。約6%の割合で性的少数者がいるということで、今はLGBTを全体で理解する時期であるとのことでした。時間はかかるかもしれませんが、LGBTについて理解を深めることで、お互いを理解しあえる社会になってほしいとのことでした。</p> <p>・7月31日 (火) 地区座談会 (中之又地区)</p> <p>この日は、台風に係る雨のため延期になったのですが、各地区の座談会で教育委員会に対しては、小中一貫教育についての質問がありました。義務教育学校との違いについて質問があり、回答はしてお</p>	

りますが、今後、教育委員の皆様にも同様の質疑があるかもしれませんので、改めて共通理解のため別紙資料を確認してください。

中竹教育長

・市町村教育委員連合会総会及び研修会には、原委員も参加されましたのでご意見を願います。

原委員

・LGBTについて改めて考えさせられました。今後、新しい校舎を建設するときは、トイレについても多目的トイレを設置するなどの配慮が必要だと感じました。

中竹教育長

・それでは、行事報告及び行事予定の説明をお願いします。

② 行事報告及び行事予定（課長説明）

7月行事報告）

- ・ 7月10日（火）小中一貫教育在り方検討委員会（1階会議室）
構成メンバーであります教育委員、各校長、事務局で開催しました。その中では、小中一貫教育の学校種については、施設一体型の義務教育学校が望ましいとの結果でした。この後の協議の場で協議しまして、教育委員会としての決定を行いたいと思います。
- ・ 7月12日（木）第2回教科用図書採択地区協議会（西都市）
中竹教育長、原委員が参加しまして、協議を行い、採択地区協議会においての選定を行いました。この後の協議の場で協議しまして、本町の教育委員会としての同意、採択を行いますので、詳細につきましては、そこで説明します。
- ・ 7月22日（日）ふれあいドッジビー大会（町体育館）
暑い中での実施でしたが、熱中症対策として扇風機等の設置を行い、体調不良を訴える児童もなく終わることができました。
- ・ 7月26日（木）学校通学路危険箇所点検（町内）
教育委員会、宮崎県土木事務所、警察、環境整備課、総務財政課で危険箇所の現地調査と今後の対応について協議しました。早急に対応するために昨年度より1ヵ月早めて実施しました。今回は、田神地区の交差点において、横断歩道の強調化塗装と、車道に注意喚起の塗装を行うように計画し、9月補正予算に計上します。

8月行事予定)

- ・ 8月10日(金)～16日(木) 木城町中学校学校閉庁

この間は、小中学校を閉庁し、学校への連絡事項は、教育委員会で受け付けます。また、緊急な用務、連絡等につきましては、教育委員会から校長等に連絡することになります。

- ・ 8月 8日(水) 児湯地方教育委員会夏季研修(高鍋町)

リバリスを午前9時30分に出発しますのでよろしくお願い致します。

中竹教育長

- ・ 追加等ありませんか。

白岩係長

・ 7月24日に平成30年度第2回日向新しき村100周年記念事業実行委員会を開催しました。7月の定例教育委員会で報告した内容で進めておりますが、ポスターの原案、表彰の内容等が決定し、作業を進めているところです。また、文学碑の建立につきましては、広く寄付をお願いしており、徐々に集まってきています。また、青少年育成町民会議において、8月1日から1ヶ月間をあいさつ推進強化月間として取り組みます。その一環として、役場職員の接遇意識の向上を目指して、接遇等に対するアンケートを行います。

中竹教育長

- ・ 9月9日に木城中学校体育祭、9月17日にリバリスホールにおいて、高齢者向けのホールイベントを開催します。9月7日から定例議会開催予定となっております。

(4) 協議事項

中竹教育長

・ 2つの議案がありますのでよろしくお願いします。まず、第1号議案「平成31年度中学校用教科用図書 道徳及び平成31年度小学校用教科用図書 国語、書写、社会、地図、算数、理科、生活、音楽、図工、家庭、保健」の採択についてであります。児湯採択地区協議会において、選定にかかる協議を行ってまいりました。小学校の教科用図書につきましては、新たに検定された教科用図書がなかったことから、選定にあたっては、専門委員会を設置せず、平成27年度使用小学校教科用図書採択時に各教科専門委員会で研究した研究資料を活用し採択を行った。現在使用されている教科用図書は、現行の小学校学習指導要領に示されている各教科の目標を十分達成できるものとして採択されたものであり、その評価は良好であることから、前回の教科用図書の選定は適当であると判断し、本採択地区は、前回採択時と同じ発行者の教科用図書を採択することになりました。これを踏まえまして、委員各位の意見をお願いします。

委員全員

・意見なし

中竹教育長

・ご意見がなければ、児湯採択地区協議会の選定した教科用図書について、同意し、木城町教育委員会においても採択してよろしいでしょうか。

委員全員

・異議なし

中竹教育長

・それでは、平成31年度使用小学校用教科用図書につきまして、「国語」東京書籍、「書写」東京書籍、「社会」東京書籍、「地図」東京書籍、「算数」新興出版社啓林館、「理科」新興出版社啓林館、「生活」新興出版社啓林館、「音楽」教育出版、「図画工作」日本文教出版、「家庭」開隆堂出版、「保健」学研教育みらいを採択します。

続きまして、平成31年度使用中学校用教科用図書「道徳」について説明します。本地区の生徒は、明るく素直な生徒が多く、あいさつの習慣が身についている。一方で、粘り強く自分を高めていこうとすることや、地域に主体的に関わり、貢献しようとする態度がやや不足している傾向が高い。また、インターネットによるコミュニケーションが日常化している生徒にとって、インターネットでのいじめ等の問題も身近な存在となってきており、深刻化するトラブルを未然に防ぐ上でも家庭や地域と連携した取り組みがより一層求められている。道徳に授業については、各学校において、生徒の発達段階や特性等を踏まえ、計画的に行われているが、道徳的な課題を自分自身の問題として捉え、多面的・多角的に考え、議論等を通して考えを深めたりする指導が十分でないといった課題があげられる。このような実態や課題を踏まえ、以下の視点について考慮されている。

- ①道徳ノートを併用することで、多面的・多角的に考えたり、主体的に考え行動することにより充実した学習活動を行う工夫がされている。
- ②情報モラル、いじめ問題など社会問題に対して、複数の題材を配置し、重点化させるとともに、主体的に自分との関わりで考えを深めさせるよう工夫している。
- ③道徳ノートに自分の考えや友達の見解、自分への振り返りを書かせることで、意見の交流を活性化することや、生徒が自己の心の成長を視覚的に振り返ることができるような工夫がみられる。
- ④本県・本地域に関わりの深い内容を取り上げ、生徒が親しみやすく、身近な話題として学びやすくする工夫がみられる。

これらの工夫により、生徒・教師にとっても使いやすく、教えやすいものとなっており、児湯採択地区協議会においては、日本文教出版を選定しました。委員各位のご意見をお願いします。

中竹教育長

・ご意見がなければ、児湯採択地区協議会の選定した教科用図書について、同意し、木城町教育委員会においても採択してよろしいでしょうか。

委員全員

・異議なし

中竹教育長

・それでは、平成31年度使用中学校用教科用図書につきまして、「特別の教科 道徳」は日本文教出版を採択します。なお、採択内容等につきましては、8月31日まで非公開でお願いします。

中竹教育長

・続きまして、第2号議案「小中一貫教育の学校種の決定について」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

課長

・平成29年度及び平成30年度における、木城町小中一貫教育制度研究についての経緯を説明し、小中一貫教育在り方検討委員会の内容を報告

・平成29年度に教育委員会では、義務教育の更なる充実を目指して、2023年度から小中一貫教育を導入することを決定しました。その学校種については、平成30年度から、義務教育学校を含めた小中一貫教育の学校種の研究を行い、小中一貫教育あり方検討委員会等で協議を行ってきました。その中で、校舎については、将来の子どもたちにできるだけより良い教育環境をつくることを前提として考えたときに、小中学校で校舎を隔てるのではなく、施設一体型の校舎を建設することが望ましい。校舎建設にあたっては、国の交付金事業ではなく、負担金事業を活用する方が有利である。その場合、義務教育学校であれば、負担金事業の対象となり得る。木城町町政施行50周年の年に、新たに生まれ変わる学校として義務教育学校を選択する。施設一体型のメリットを最大限に生かせる義務教育学校において、義務教育9年間を通して豊かな心、たくましい体、確かな学力を育む教育を推進していきたい。以上の理由により、平成30年7月10日に開催されました、木城町小中一貫教育あり方検討委員会で、木城町が2023年度に導入する小中一貫教育を施す学校種としては、施設一体型の義務教育学校が望ましいとの結論に至りました。

中竹教育長

・ご意見をお願いします。

小嶋補佐

・義務教育学校開校後の普通交付税の算定につきまして、確認したところ、義務教育学校となっても学校数は、小学校1、中学校1の基礎数値になりますので、現在と変更ありません。

中竹教育長

・他にご意見はありませんか。委員の皆様におかれましては、平成30年7月10日に

開催されました、木城町小中一貫教育あり方検討委員会のメンバーでもありましたので、議論は尽くしたと思います。それでは、採決します。木城町が2023年度に導入する小中一貫教育を施す学校種としては、施設一体型の義務教育学校でよろしいですか。

委員全員

- ・異議なし

中竹教育長

・木城町が2023年度に導入する小中一貫教育を施す学校種としては、施設一体型の義務教育学校に決定しました。本日、この後、総合教育会議を開催し、町長部局に対し報告し、情報の共有を図るとともに、総合教育会議に諮りたいと思います。

(5) 意見交換

中竹教育長

- ・ご意見があればお願いします。

原委員

・町内にある新規の文化財について、文化財保存調査委員会で調査等を行う必要があるのではないのでしょうか。また、木城中学校のブロック造駐輪場の耐震補強工事は終わったのでしょうか。

中竹教育長

・確かに、文化的な価値も含めて、町民からの問い合わせに対応していくために、文化財保存調査委員会を開催する必要があると思います。調査委員だけでは判断ができないときには、専門家などを入れて調査していきたいと考えています。また、現在、指定されている文化財の状況等の調査が必要だと考えています。

課長

・木城中学校のブロック造駐輪場の耐震補強工事につきましては、業者と契約が完了し、作業を進めているところです。夏休み中には完了予定となっています。

鳴海委員

- ・9月9日の中学校の体育祭は、熱中症対策が必要じゃないのでしょうか。

柄本委員

- ・県のテニス大会でも熱中症患者が多数出て、救急車が出動していました。

中竹教育長

・2学期は学校行事も多く、この時期にしか開催できないのが実情です。また、本町の中学生もテニスの部活動練習中に熱中症により、救急車で運ばれました。幸い症状は軽く、病院で点滴を打ってその日のうちに帰りました。これらも踏まえて、学校においても十分注意して実施すると考えています。

外山専門監

・この件につきまして、学校の熱中症対策として、水分補給や休息を適宜とっていたのですが、このようなことになりました。その後、改めて文書により注意喚起をしました。また、けいれん等が起きた後の対応については、現場において適切な対応をとっていました。

(6) 次回定例会日程

9月 4日 (火) 9時00分から リバリス小会議室1

この会議録は、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

木城町教育委員会

会議録署名委員

教育長 中竹 聖子

委員 鳴海 良廣